



北の防人大湊づくり構想書（素案）
ヒストリアルゾーン
 ～明治、大正、海防、石造り建造物、自然豊かな旧大湊水源地～



青森県むつ市

北の防人大湊づくり構想書（素案）

北の防人大湊づくり構想書（素案）

－ 目 次 －

1. 概要	1
1-1. 構想書の位置づけ	1
1-2. 事業の目的	
1-3. 北の防人大湊のまちづくりについて	
2. 現地状況	
2-1. 水源池公園周辺の現状	2
2-2. 水源池公園周辺の現状	3
3. 市民協働まちづくりによる整備構想策定	
3-1. 策定の手順	
3-1-1. 市民主体の参加型まちづくりワークショップ	4
3-1-2. 第1回 WS 『水源池周辺まちあるきワークショップ』	
3-1-3. 第2回 WS 『資源マップの作成ワークショップ』	5
3-1-4. 第3回 WS 『コンセプト・観光地名策定ワークショップ』	6
3-1-5. 第4・5回 WS 『具体的なハード・ソフト事業の検討ワークショップ』	7
3-1-6. 第6回 WS 『都市再生整備計画の検討ワークショップ』	8
3-1-7. 第7回 WS 『デザインの検討ワークショップ』	9
3-1-8. 第8回 WS 『北の防人大湊づくり構想書検討ワークショップ』	10
3-2. プロジェクトチーム	
3-2-1. 北の防人大湊づくりプロジェクトチーム	
4. 整備計画について	
1. 事業の対象区域	11
2. 整備方針概要図	12
3. ゾーニングイメージ図	13
5. それぞれのまちづくりについて	14
1. ハード事業編	14
2. ソフト事業編	19
3. イベント編	20
4. まちづくり担い手編	21
5. その他	21

北の防人大湊づくり構想書（素案）

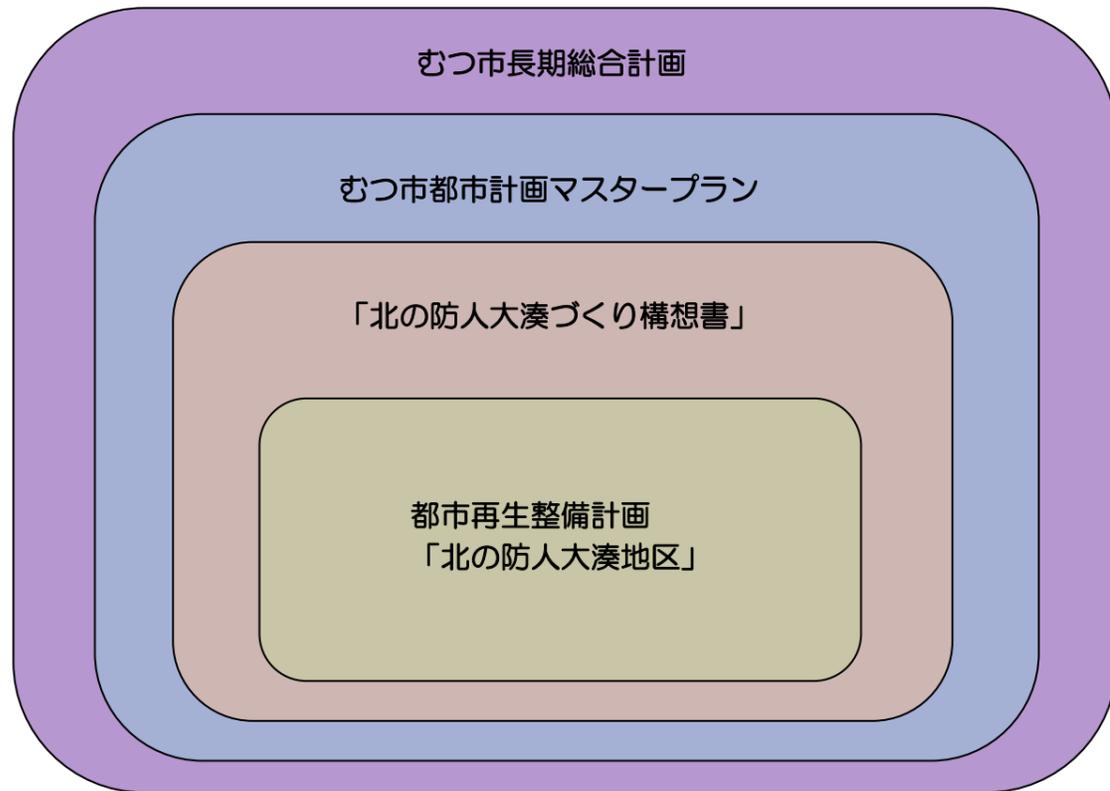
1.概要

1-1. 構想書の位置づけ

本構想書は、平成22年7月31日から平成23年3月2日までに8回開催されたワークショップの成果報告（ワークショップの詳細内容については市ホームページに掲載されています。）を兼ね、また、今後の北の防人大湊でのまちづくり・整備の方向を示すものとなります。

また今後のまちづくりにおける状況の変化によっては、構想書の内容は、見直し検討が図られることもあります。

本構想書は、むつ市長期総合計画、むつ市都市計画マスタープランを上位計画としながら、下位計画として、都市再生整備計画が位置づけられています。



1-2. 事業の目的

平成 21 年 12 月 8 日、『国の重要文化財』として、旧大湊水源地水道施設が指定を受けました。

この貴重な文化財および周辺の景観・歴史などを有効活用し、市民協働、景観を活かしたまちづくりにより水源池公園および周辺の地域を市民、観光客など誰もが親しめる憩いのゾーンとして創出し、むつ市の地域・観光交流の拡大・増進を目指します。

1-3. 北の防人大湊のまちづくりについて(北の防人大湊づくり)

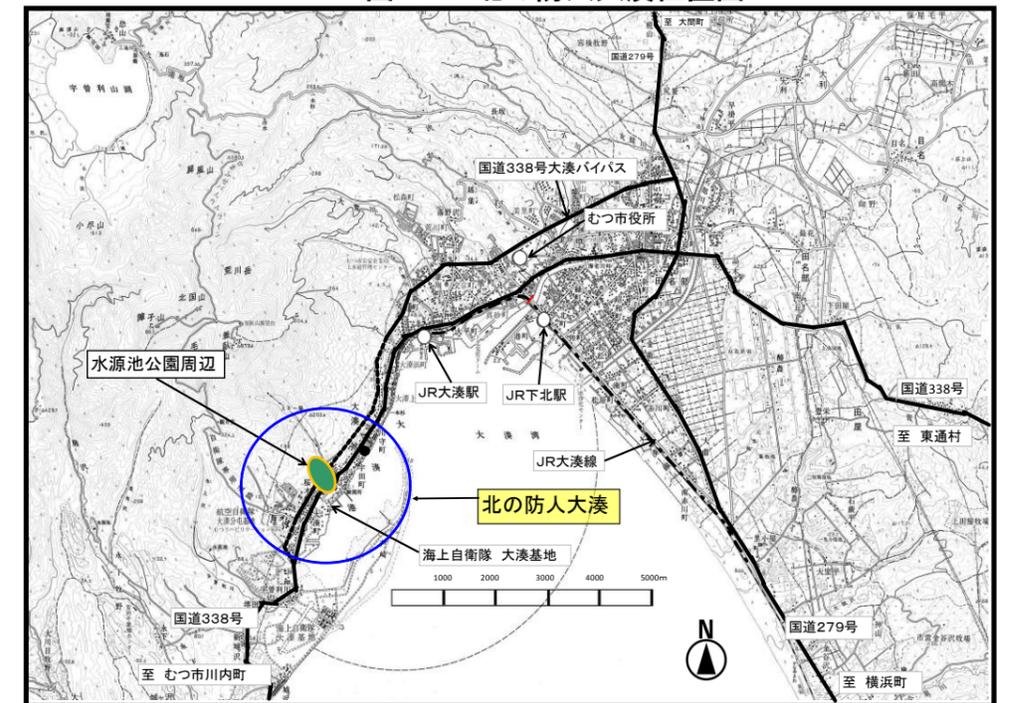
事業概要

- ・ 観光地名称【北の防人大湊】
～国指定重要文化財「旧大湊水源地水道施設」、北洋館や海上自衛隊大湊基地、釜臥山スキー場など都市公園「水源池公園」周辺から構成される一帯をさします。
- ・ まちづくりのコンセプト『ヒストリアルゾーン
～明治、大正、海防、石造り建造物、自然豊かな旧大湊水源地～』
- ・ 市民協働まちづくりとして「北の防人大湊づくりワークショップ:30人参加」を計8回開催。
- ・ 国土交通省所管 社会資本整備総合交付金事業の社会資本総合整備計画「都市再生整備計画(従来のまちづくり交付金)」を活用します。

「今後の流れ」

- 平成23年～平成27年の5カ年計画
- 平成23年 実施設計
- 平成24年 工事の随時着手

図 1-1 北の防人大湊位置図



水源池公園は、大湊駅より国道338号線で6km程度は離れたむつ市大湊地区に位置する。地域は海上自衛隊の大湊基地に近接し、自衛隊施設、住宅が周囲に点在する。北側は宇田川の上流につづき、砂防ゾーン、山間の森林となる。背後に、釜臥山、スキー場があり、豊かな自然と相まって潜在的な観光資源を有する。

北の防人大湊づくり構想書（素案）

2. 現地の状況

2-1. 水源池公園周辺の現状



写真① 沈澄池堰堤



写真② 第一入口



写真③ 乙水槽



写真④ むつ市学習センター

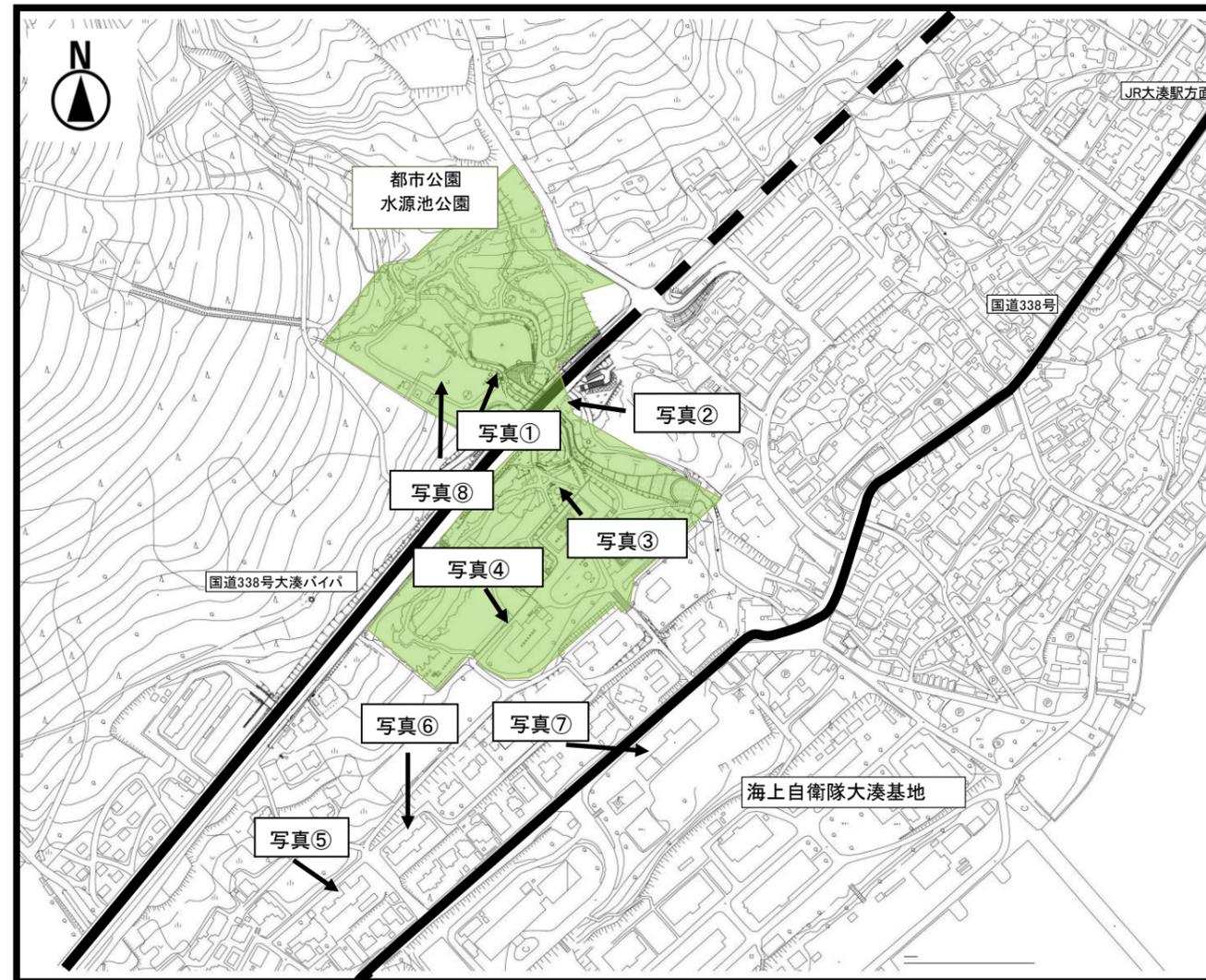


図 水源池公園周辺現状図

写真①:『沈澄池堰堤』。水道施設の拡張工事(明治41年着工、明治43年着工)の一環として建設される。現在は水源池公園のイメージ、象徴として市民に定着している。

写真②:『第一入口』。大湊水雷団(明治35年開庁)の艦船補給用水確保のため建設された。

写真③:『乙水槽』。沈澄池堰堤から引かれた管路をろ過池と艦船給水所の2方向に分岐するために築かれた。

写真④: むつ市学習センターはコンクリート造であり、市民の趣味活用のもとで使用されている。外壁、屋根の老朽化が目立つ。

写真⑤: 文化財収蔵庫は石造り建築物で、展示品が数多く収められているが、展示スペースが足りずに散乱状態となっている。

写真⑥: 旧大湊高校女子寮は石造りであり、現在は利用されておらず、仕上げ材の老朽化が顕著であるが外壁の損傷は少ない。

写真⑦: 北洋館は大正5年に海軍大湊要港部の水交社(海軍士官の社交場)として建設され、現在は海軍及び自衛隊関連の展示施設として活用されている。

写真⑧: 水源池公園内にプレハブの管理棟が配置され、そこで公園管理を行っている。



写真⑤ 文化財収蔵庫



写真⑥ 大湊高校旧女子寮



写真⑦ 北洋館



写真⑧ 水源池公園 管理棟

北の防人大湊づくり構想書（素案）

2-2. 水源池公園周辺の現状



写真⑨ 国道 338 号線の案内看板



写真⑩ 水源池公園進入路



写真⑪ 学習センター駐車場



写真⑫ 駐車場、学習センターへ至る道路

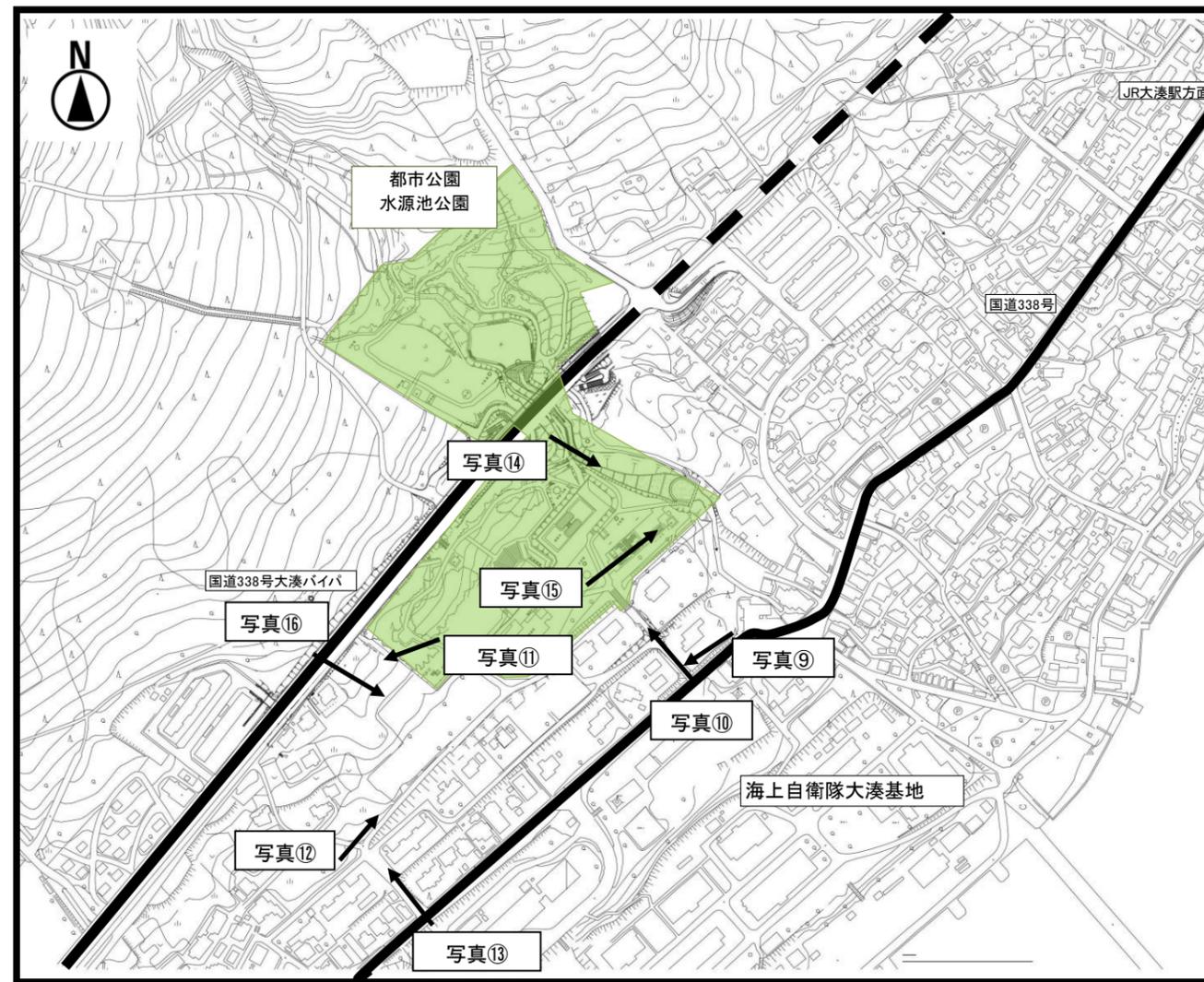


図 水源池公園内現状図

写真⑨: 国道 338 号線にある北洋館及び水源池公園の案内看板。大きなカーブの付近にあり見落としやすい。
 写真⑩: 北洋館と水源池公園を結ぶ道路であるが、幅員は狭く、歩行者の安全安心の確保が課題である。
 写真⑪: 学習センターへの来客者駐車場であるが、桜祭りなどのイベントの際に利用が増加する。
 写真⑫: 駐車場、学習センターへ至る道路は幅員が狭く、案内看板が小さく見落としやすい。
 写真⑬: 収蔵庫と女子寮の間の道は比較的広く、学習センターへ車で訪れる際にはこちらから入る。
 写真⑭: 沈澄池堰堤から流れる水は、宇田川として水源池公園の端を通りやがて芦崎湾へと流れ込む。
 写真⑮: 水源池公園内に新設の水洗トイレが 1 棟建設されているが、その他大半のトイレが汲み取り式でバリアフリー化されていない。
 写真⑯: 水源池公園からは芦崎湾が一望でき、護衛艦の停泊の様子や芦崎湾の景観を楽しむことができる。



写真⑬ 文化財収蔵庫、大湊高校旧女子寮前道路



写真⑭ 水源池公園内の流水



写真⑮ 水源池公園内トイレ



写真⑯ 水源池公園周辺からの大湊基地眺望

北の防人大湊づくり構想書（素案）

3. 市民協働によるまちづくり～整備構想の策定～

3-1.策定方法

3-1-1.市民主体の参加型まちづくりワークショップ

これまでの事業構想の進め方は、市民等の要望などから、市側で事業構想をまとめる形が主でした。今回は、「道路や建築物など公共施設等の整備・改修のメニュー検討」、「土木・建築工事ではないソフト事業」、「デザイン・景観」などについて、構想初期段階から市民主導で作り上げていく市民協働のまちづくり作業で、整備構想をまとめ上げています。

対象地域や既存施設（既存ストック）などの構想材料をもとに、フリースタイルで市民主導により意見等を出し合い構想案を練り上げていく、いわゆるワークショップ：WSにより構想案を策定していき、さらに、その構想案に対して市民意見を重ねて、最終的に一つの構想に取りまとめました。

**（仮称）水源池公園周辺整備構想作りワークショップ
の開催からスタート**

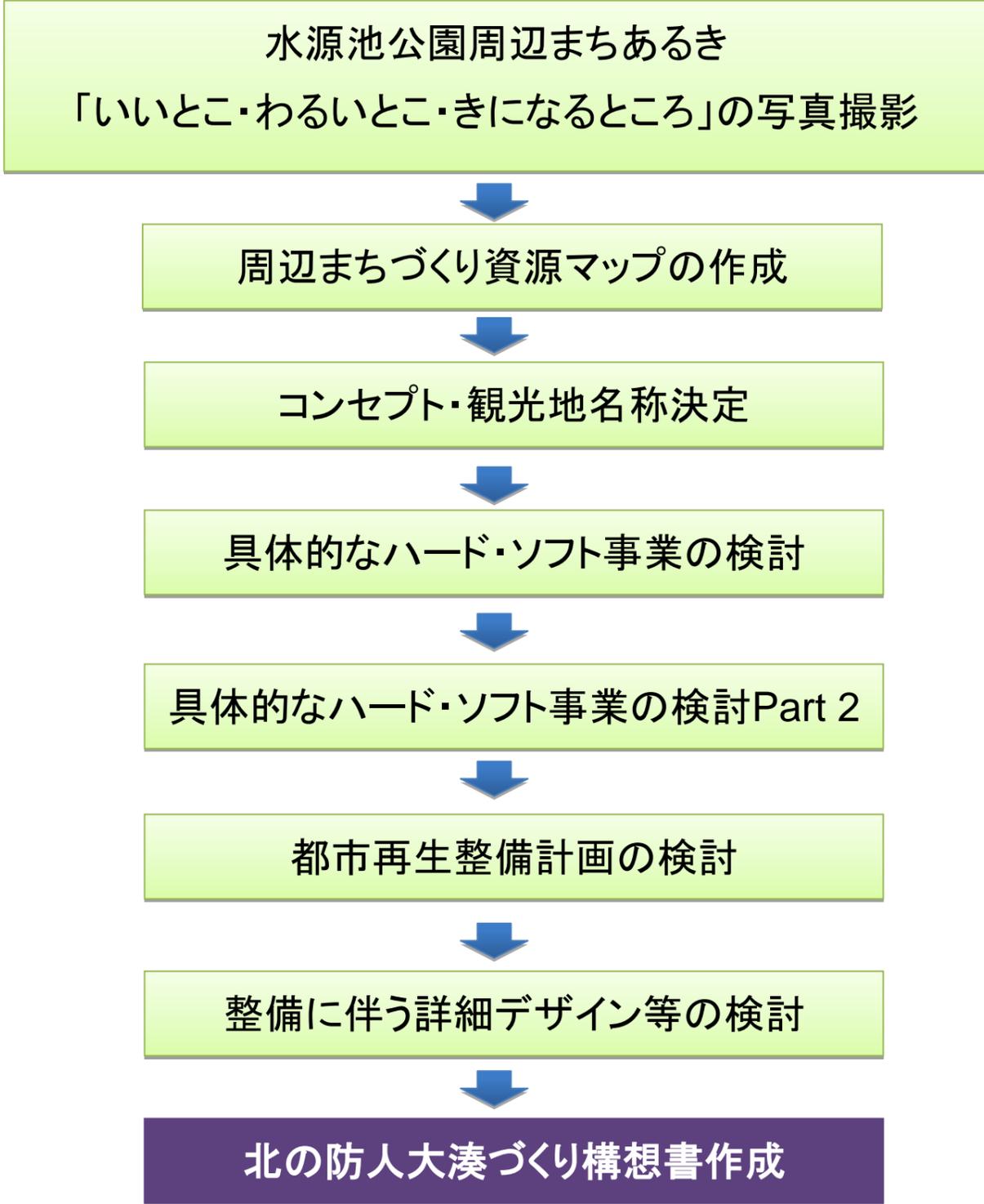
大目標＝目的：訪れる観光客・地域交流の拡大

市民目線で構想を練り上げていく

現実的・具体的な構想書を策定

WSの検討ステップ

作業内容



北の防人大湊づくり構想書（素案）

3-1-2. 第1回WS(平成22年7月31日)

水源池公園周辺まちあるきワークショップ 『いいとこ・わるいとこ・きになるところ』の写真撮影

・第1回ワークショップでは、水源池公園周辺の整備内容について、集まっていた市民へ説明を行い、22名のワークショップメンバーを四つにグループ分けをしました。その後、各グループに分かれ、自己紹介ワークショップを行い、水源池公園周辺の探索に出かけました。探索では『いいとこ・わるいとこ・きになるところ』について写真撮影をし、写真撮影後は、各々が感じたことについて意見交換を行いました。また、グループ名も決めました。



【ワークショップグループ】

- ・ チーム感幸
- ・ 1班グループ
- ・ チーム水溜り
- ・ 種市チーム

【WS風景】



整備構想説明



自己紹介 WS



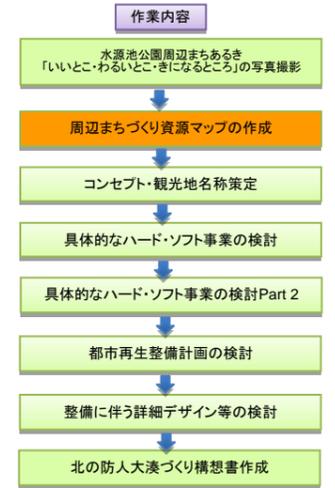
水源池公園周辺探索まちあるき



3-1-3. 第2回WS(平成22年8月25日)

資源マップ作成ワークショップ

・第2回ワークショップでは、今回の事業とまちづくり交付金の関係を説明し、その後、まちづくり資源マップ作成を行い、第1回WSで探索したルートを書き込みや、撮影した写真を貼り付けながら、赤、青、黄色の三色の付せんを使って『いいところ・わるいところ・きになるところ』について記入し貼りつけました。さらに急ぎよ緑色の付せんには思いついたことも記入しました。そして、完成した資源マップについて発表会を行いました。



【作業風景】



【資源マップ】

水源池公園周辺の地図へ実際に歩いたルートを書き込み、撮影した写真を貼りつけていく。また、4色の付せんを使用して、意見を記入。この資源マップを作成したことにより、現状での課題や今まで見えなかった良い面の発見をする。そして、整備の方向性や具体的なイメージづくりとなる。



1班グループ



チーム感幸



チーム水溜り



種市チーム

北の防人大湊づくり構想書（素案）

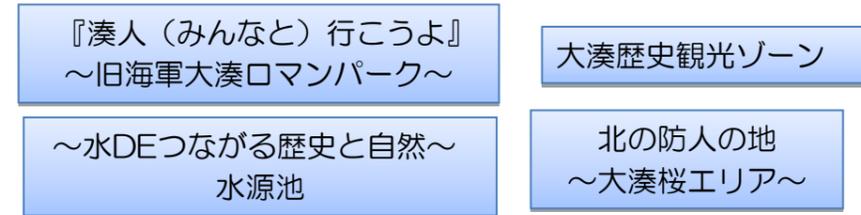
3-1-4. 第3回WS(平成22年9月1日)

コンセプト・観光地名称策定ワークショップ

・第3回ワークショップでは、コンセプト・観光地名策定の前に、景観法による景観づくりについての説明を行いました。コンセプト・観光地名策定作業では、第2回ワークショップで作成されたまちづくり資源マップなどから、この観光ゾーンのキーワードを探し出し、それに基づいてコンセプトや観光地名称の検討を行いました。そして、ワークショップの最後に各グループ意見を発表しました。



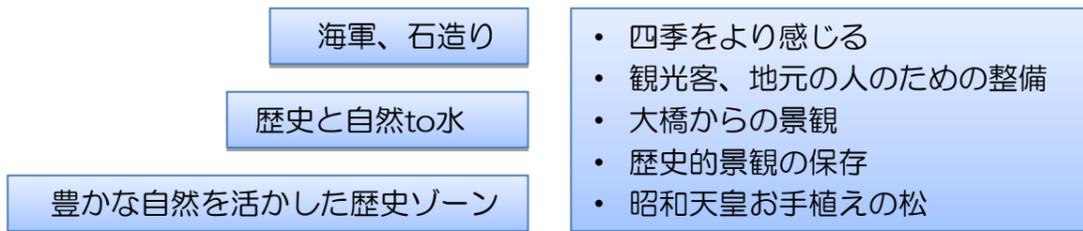
【観光地名称】



きたのさきもり おおみなと

北の防人大湊

【コンセプト】



ヒストリアルゾーン

～明治、大正、旧海軍、海防、石造り建造物、自然豊かな旧大湊水源地～

【WS風景】



【資源マップ】



1班グループ

チーム感幸

チーム水溜り

種市チーム

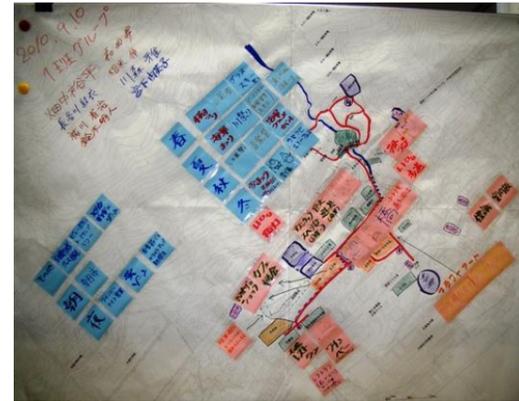
- ・ワークショップにより出された各グループの意見を集約し、観光地名称を政策推進会議で『北の防人大湊』と決定。旧海軍とゆかりの深い大湊地区であり、北の要港大湊を守るというイメージから、北の防人というフレーズが連想され観光地名に反映されることとなり、また、整備コンセプトとして『ヒストリアルゾーン～明治、大正、海防、石造り建築物、自然豊かな旧大湊水源地～』とし、明治、大正時代のレトロな雰囲気や纏い、旧海軍の海防イメージや使用していた施設をリノベーション活用し、歴史を伝えていき、水源池公園などの自然豊かで癒しの空間の魅力を多くの人に発信していくこととした。

北の防人大湊づくり構想書（素案）

3-1-5. 第4、5回WS(平成22年9月8日、9月10日)

具体的なハード・ソフト事業検討ワークショップ

・第4回目のワークショップでは、具体的事業の検討の前に、駐車場と歩くルートについての説明がされました。そして具体的な歩くルートの検討をし、次に、ハード・ソフトメニューについての説明がされ、ハード・ソフト事業のメニュー選択作業を行い第4回WSは終了とし、第5回は、引き続きハード・ソフト事業のメニュー選択作業を行い、最後にグループごとに歩くルート、ハード・ソフトメニューについて発表を行いました。

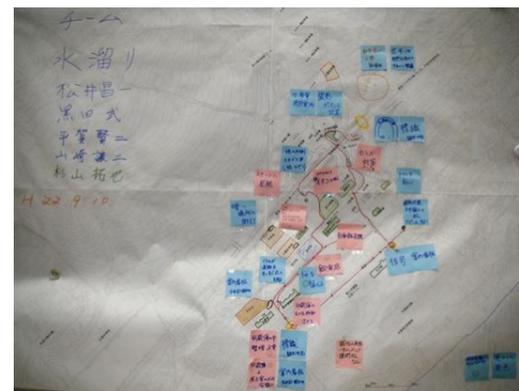


1班グループ



チーム感幸

【WS風景】



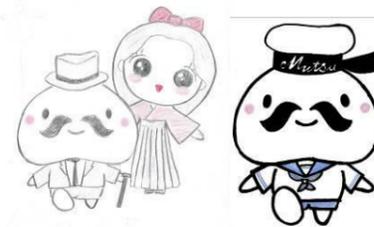
チーム水溜り



種市チーム



【北の防人キャラクター】



北の防人とのコラボキャラクターたち

デジタル化



観光地キャラクターの誕生

- ・第2、3回目のWSで作成した資源マップやコンセプトシートを基に具体的な事業メニューを検討。
- ・観光ルートの策定を行うことで、具体的な散策イメージを膨らませ、舗装イメージなどが明確化する。また、ベンチや東屋などの休憩スペースの配置計画へと発展し、水源池公園入口にバリアフリー対応のされたスロープの設置など多くの斬新なアイデアが発表された。
- ・海上自衛隊などの他の関係部署とも連携した事業整備も必要であるとする意見もあった。
- ・青色の付せんは『ソフト事業』、赤色の付せんは『ハード事業』となっているまた、事業のイメージをイラストにして表現しているグループも見受けられる。

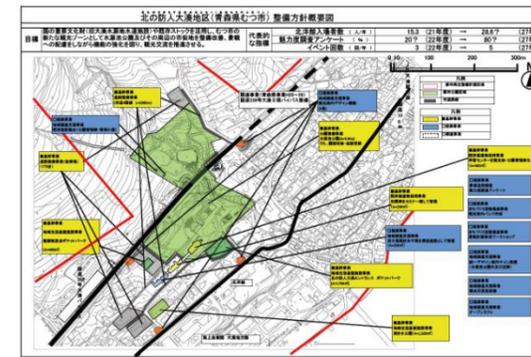
・むつ市のマスコットキャラクターであるムッシュ・ムチュラン1世とマダム・ムチュリーを北の防人大湊のソフト事業とコラボさせ、観光地のキャラクターを生み出した。

北の防人大湊づくり構想書（素案）

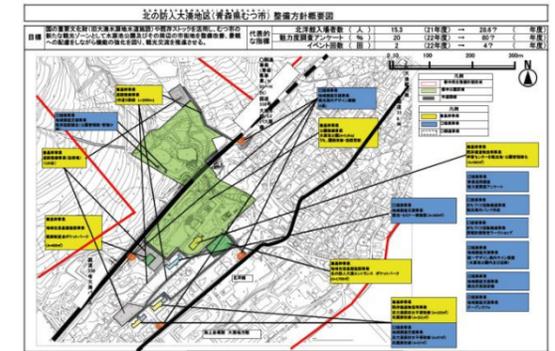
3-1-6 第6回WS(平成22年11月26日)

都市再生整備計画検討ワークショップ

第6回目のワークショップでは、北の防人大湊プロジェクトチームで今まで話し合った意見や資源マップ、コンセプトシート、ソフト・ハード事業の具体的案を基に、ブラッシュアップ(磨き上げ)を行い作成し、都市再生整備計画書についての検討を行いました。なお、人数の都合上、1班グループと種市チームが合併グループとして検討作業を行いました。この回からWSの名称が北の防人大湊づくりワークショップと改称されました。



A案方針概要図



B案方針概要図

都市再生整備計画の検討にあたり、「文化財収蔵庫、旧女子寮を移設させ機能の集約を図るA案」と「石造り建築物をリノベーション活用し、更に新設の建物を1棟建設するB案」の2案を提示し、目標や指標などの検討を行った。(集約を図るA案がおおむね好評を得た。)

【都市再生整備計画】

都市再生整備計画？

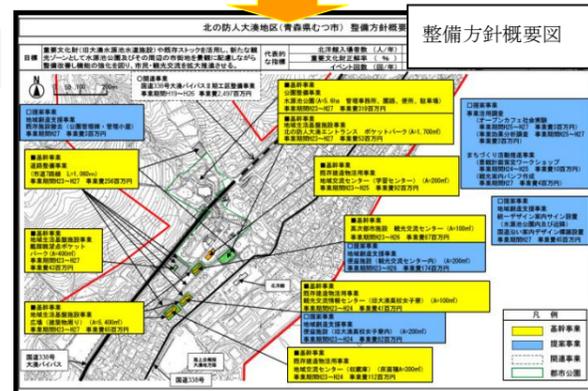
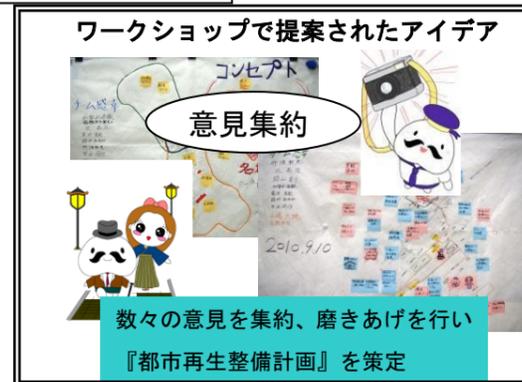
北の防人大湊づくり

都市再生整備計画事業として行われる事業

都市再生整備計画事業

国からのまちづくり交付金(社会資本整備総合交付金)

都市再生整備計画の作成が必要不可欠



都市再生整備計画とは、「都市再生特別措置法」に基づいて、市町村が作成するまちづくりの計画。これは、都市の再生が必要な土地の区域において、まちづくりの目標やその達成のために必要な事業等が記載され、地域の創意工夫が反映された総合的なまちづくりの計画となる。また、都市再生整備計画に基づいて実施される事業について、事業費の一部に「まちづくり交付金」が国から交付される。(この事業は、まち交などと呼ばれる。)

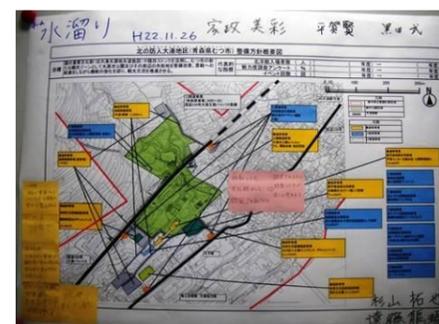
今回の、北の防人大湊づくりにもこの「まちづくり交付金」を活用するため、都市再生整備計画の作成が必要である。



1班グループ&種市	採用案	A案
区域		・建築がまとまっている ・乗客しやすい ・駐車場の広い ・予算的にも妥当 ・道路がわかりやすい
目標3		・思い出に残るような環境 ・自然を活かした環境 ・訪れた方々が何度も来たくなる
指標		
新指標		・バス乗降り客数(最寄りバス停) ・駐車台数 ・ゴミの量
北洋館		・妥当
イベント回数		・妥当
魅力度アンケート		・従前値 20%→10% ・目標値 80%→60%
宿泊		・妥当ではあるが、ちよつと多い?



チーム感幸	採用案	A案
目標3		「食」の情報発信を通じて観光・交流の拡大を図る
指標		・地産地消率の向上 従前値 0%→ 目標値 25%
方針概要図		・女子寮に地産地消形のレストランを開設 ・現在の収蔵庫の収蔵機能は他の施設へ移動 ・収蔵庫を室内コンサートホール、ワインバーに改修 内容: ナイトバーでワインバー、ビアホール開催 : ダンスパーティー ・お酒を飲んだら泊まれる宿泊施設がほしい



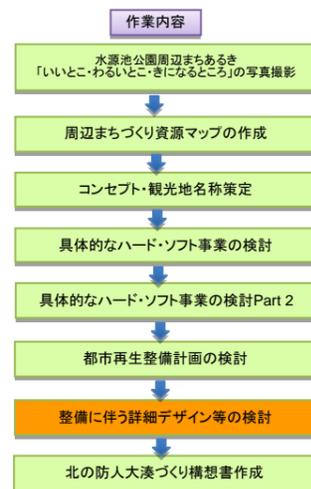
チーム水溜り	採用案	A案、B案どちらでもよい
指標		: 移転しても文化財と認定されるなら移転したほうがよい
北洋館		・周辺が整備されることで増加が見込まれるので妥当
魅力度アンケート		・目標値 80%→70%
宿泊者数		・周辺が整備されることで増加が見込まれるので妥当
イベント回数		・四季毎に大きなイベント4回 OK(つつじ祭り、あじさい祭り)

北の防人大湊づくり構想書（素案）

3-1-7. 第7回WS(平成23年1月28日)

デザイン検討ワークショップ

第7回目のワークショップでは、整備に伴う建物の外装、内装や舗装などの詳細デザインのイメージ検討を行いました。建築物、道路舗装など各フォーマットへ各地軍港や観光先進地の写真の中から、イメージに合うものを選択してもらい、コメントなど入れ具体的イメージを広げていきます。



1班グループ&チーム種市

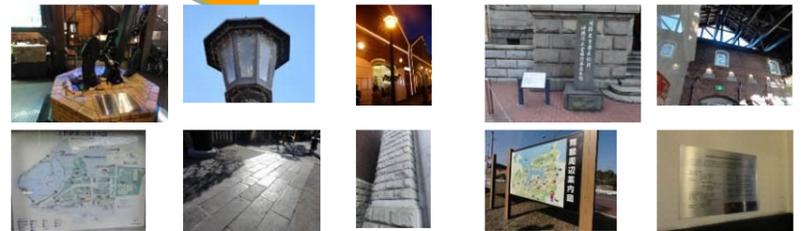
建物	地域交流センター(学習センター)	外壁		既存の石造り建築物は外壁をそのまま活かす
	地域交流センター(文化財収蔵庫)	内装		青森県産ひば、杉を使用する。
道路・小路	路面舗装	駐車場	休憩スペース	メイン路面
				小道のアスファルトに着色を施す
				文化財収蔵庫付近
公園・モニュメント	園路	休憩スペース	モニュメント	モニュメント
案内看板	水源地周辺地区	公園内	北の防人大湊地区広域	案内看板
				説明看板
				文化財収蔵庫
				道路標識
				ジオラマ
街灯	水源地公園周辺	公園内	小道	水源地公園周辺
				公園内
イベント・その他	文化財収蔵庫	文化財収蔵庫	桜祭り	文化財収蔵庫

チーム感幸

建物	地域交流センター(学習センター)	外壁		既存の石造り建築物は外壁をそのまま活かす
	地域交流センター(文化財収蔵庫)	内装		外からの光をたくさん取り入れ、開放感のある雰囲気とする。
道路・小路	路面舗装	駐車場	休憩スペース	石畳風舗装
				バリアフリーを意識した道づくり
公園・モニュメント	園路	休憩スペース	モニュメント	すべりにくい舗装
				公園入口
				案内看板
案内看板	水源地周辺地区	公園内	北の防人大湊地区広域	案内看板
				施設案内看板
				ゾーンごとに区域を色分けする。説明文は簡潔に絵を使ってわかりやすく。
				施設ごとに案内看板を設置する。
街灯	水源地公園周辺	公園内	小道	街灯イメージ
				基本的には六角形の街灯とし、場所ごとに異なる形状の街灯も設置する。
イベント・その他	文化財収蔵庫	文化財収蔵庫	桜祭り	ガス灯のような深いオレンジ色の街灯を設置する。

建物	地域交流センター(学習センター)	外壁	
	地域交流センター(文化財収蔵庫)	内装	
	観光交流情報センター(旧女子寮)		
	観光交流センター		
道路・小路	路面舗装	駐車場	休憩スペース
公園・モニュメント	園路	休憩スペース	モニュメント
案内看板	水源地周辺地区	公園内	北の防人大湊地区広域
街灯	水源地公園周辺	公園内	
イベント・その他			

具体的なデザインイメージの写真を選択し、コメントを書き入れていく



作業風景



北の防人大湊づくり構想書（素案）

3-1-8. 第8回WS(平成23年3月2日)

北の防人大湊づくり構想書検討ワークショップ

第8回目のワークショップでは、北の防人大湊プロジェクトチームで作成した構想書のたたき台をもとに検討を行いました。また、道路整備に関連した路線名の考案も構想書の検討と同時進行で行いました。なお、第8回WSではグループ編成を2グループとし、『1班グループと種市チームの合併グループ』、『チーム感幸とチーム水溜りの合併グループ』で構想書の作成作業に取り組みました。



3-2. プロジェクトチーム

3-2-1. 北の防人大湊づくりプロジェクトチーム(PT)

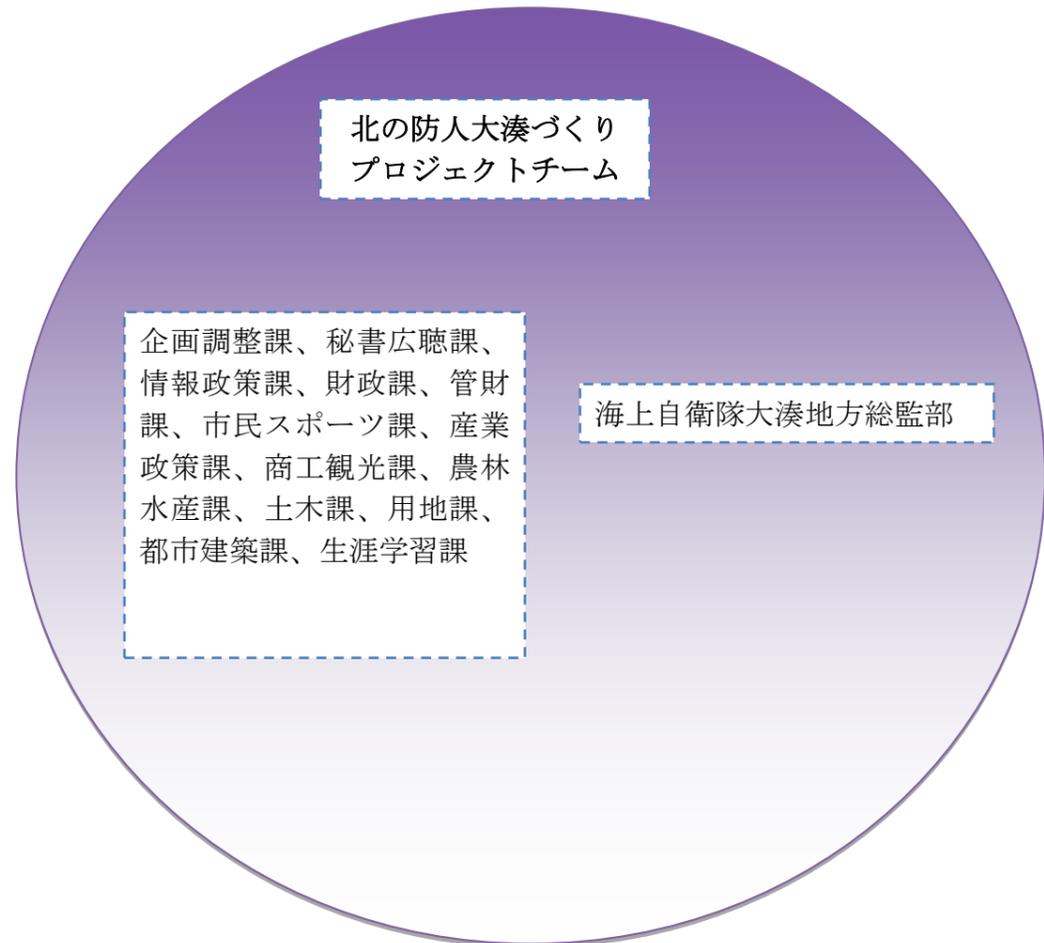
従来、事業の遂行にあたっては、個別の課による成果によって目標を達成しようとしてきましたが、北の防人大湊づくりは、あらゆる分野の相互的な積み重ねによって、『市民・観光客の交流拡大』という大目標の達成を目指すこととなります。そこで、事業計画・事業進行・事業後の継続を効果的に推進するために、市庁内の多数の課や海上自衛隊大湊地方総監部から構成される「北の防人大湊づくりプロジェクトチーム」が設置されています。

このPTでは、事業の進捗調整、他団体との調整を図り、目標に向かってまちづくりを推進します。

【WS風景】



構想書の検討作業は、パソコンとプロジェクターを使用し、直接、構想書たたき台への修正や、不足部分への加筆を行った。また、建築物の名称について考案してもらい、北の防人大湊に因んだ名称が提案された。道路整備に関する路線名の検討も行われ、多くの意見が提案された。構想書検討後は、発表会を行い、北の防人大湊づくりWS最後ということもあり、メンバー全員で輪を囲み、その中で検討した意見の発表を行った。第8回のWSで検討させた意見を基に、構想書の磨き上げを行う。



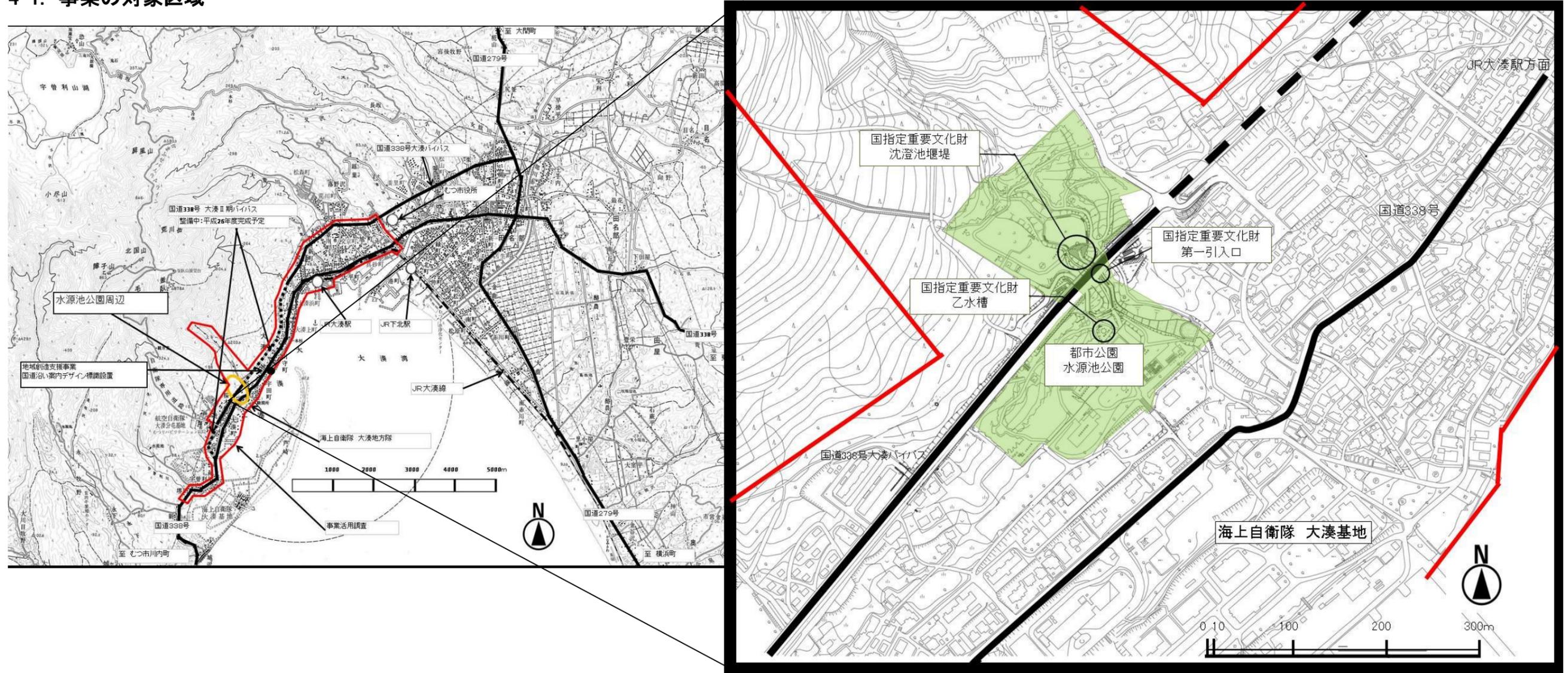
【路線名検討】



北の防人大湊づくり構想書（素案）

4. 具体の整備計画について

4-1. 事業の対象区域



都市再生特別措置法に基づく都市再生整備計画【北の防人大湊地区】

【面積】: 510ha

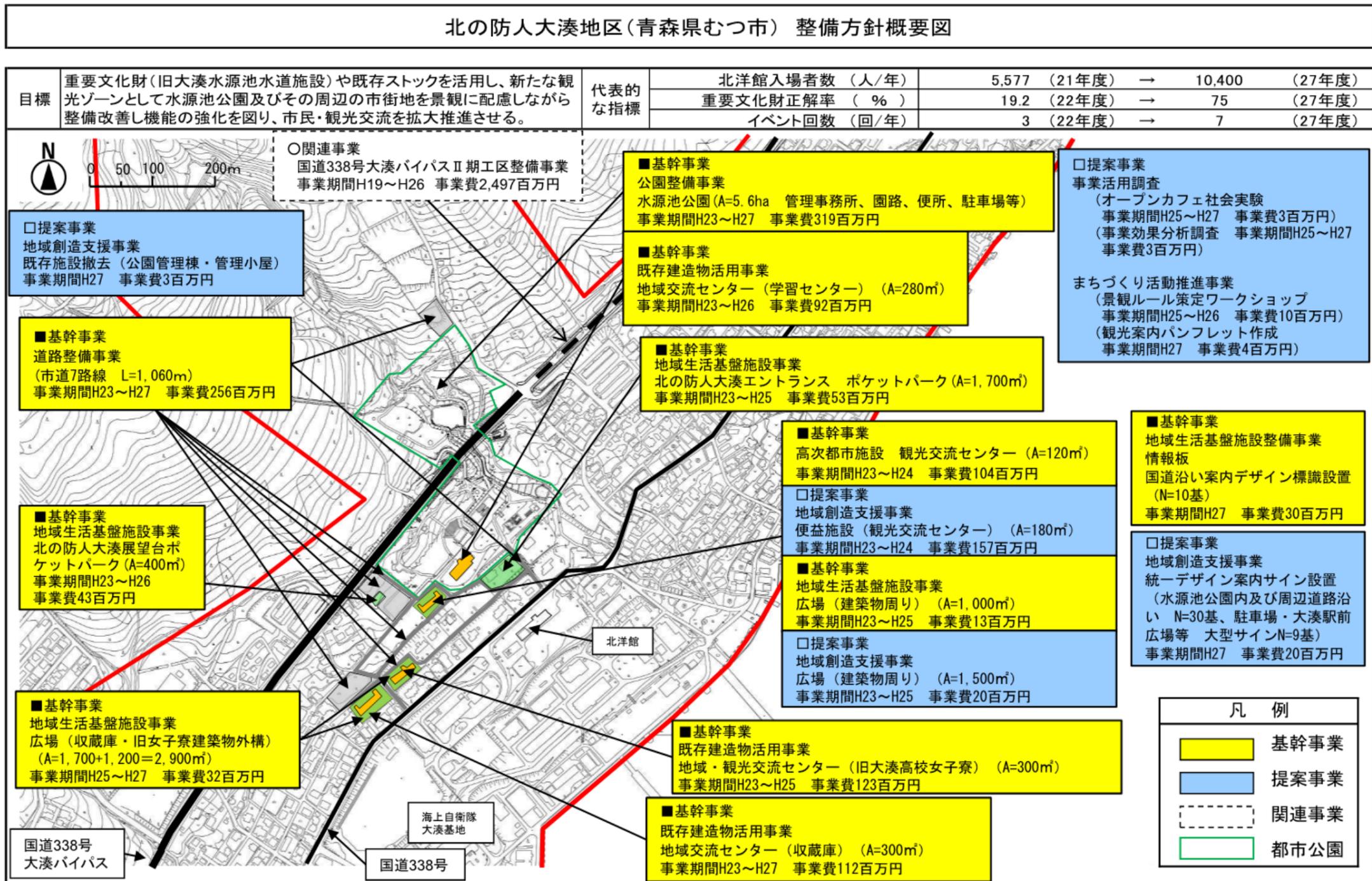
【区域】: 大湊町、川守町の全部及び大字大湊、大字城ヶ沢、桜木町、宇田町、大湊上町、大湊浜町、大湊新町、大平町、旭町、並川町、文京町、山田町、中央二丁目の一部

【メイン整備地区】: 水源池公園周辺

北の防人大湊づくり構想書（素案）

4-2 整備方針概要図(都市再生整備計画)

・WSで検討された項目を基に事務局側で再度、都市再生整備計画の修正を行いました。修正したものを案として、市のHP、中央公民館、本庁舎都市建築課窓口で公表・縦覧し、都市再生整備計画ならびに北の防人大湊づくりに対する市民意見を募集し(平成23年1月20日～2月10日)、最終的に都市再生整備計画に反映しました。



北の防人大湊づくり構想書（素案）

5.1 それぞれのまちづくりについて ～ ハード事業編 ～

建築物

● 既存ストックの再生 石造り士官宿舎(旧大湊高校女子寮)

建物名称候補：(例：北の防人大湊式番館、海が見える市民館、海に望む市民館略して海望館、湧水館、防人館)

- 活用方法：主に市民向けの交流施設として、学習センターの機能(市民交流機能、舞・社交ダンスの場など)を引き継ぎ、市民の憩い・交流の場として、コミュニケーションの拡大を図ります。また、市民・観光客のための雰囲気のあるおもてなしの場(歓迎レセプション)やセミナースペースとしても利活用を図ります。
- 外観について：石造りの外観を活かしながらモダンな雰囲気とし、必要な修復を図ります。
- 内装について：海側の窓や採光スペースを大きくし、開放的なある光にあふれるスペースとし、また、レトロな雰囲気を持ち合わせた整備を目指します。
- 外構について：金剛水(釜臥山表参道山かけ登拝起点)を活用しながら、開放感のあるコンセプトを踏まえた整備を目指します。

整備イメージ図



before



After



● 既存ストックの再生 石造り士官宿舎(市収蔵庫)

建物名称候補：(例：史学館、伝承館)

- 活用方法：市民や観光客向けの北の防人大湊に関する、歴史などの学習の場や、展示イベントなどの開催場として利活用を図り、未来にわたって、北の防人大湊での出来事の伝承・創造を図ります。
- 外観について：石造りの外観を活かしながら、必要な修復を図り、小物等もコンセプト化を図ります。
- 内装について：床張りは地元建材を使用し、展示イベントを考慮し、展示スペースへの直光は避けつつ、間接照明器具を活用し、建物内部は明るい雰囲気を出します。
- 外構について：建物の前面にある杉は伐採又は移植し、建物前のオープンスペースは開放的に活用します。



before



After



北の防人大湊づくり構想書（素案）

● 既存ストックの再生 学習センター

建物名称候補：(例：水源池管理棟、開放館、水源地ホール)

- 活用方法：水源池公園の管理の拠点施設とする管理棟として活用し、さらに、自然豊かな大湊水源地を象徴させる場(例えば、植樹イベントなどにおけるスタート地点：レクチャーの場としての活用など)として大きな開放感のある市民・観光客がいつでも利用できるフリースペースとして提供します。
- 外観について：コンセプトにあわせた外観にリノベーション(赤レンガ・石造り・木造などの外観)し、景観づくりを図ります。
- 内装について：現在の学習センターは湿気が多く、カビ臭い状態であり、採光についても満足できるものではないため、芦崎湾を展望できる南側の部分については 開放的な空間とし、風通しの良いクリーンなイメージの内装とします。
- 外構について：水源池公園内のため、公園工事で併せて、景観の創出・開放的な空間の創出を目指します。



before



After



before



After

● 新築 観光交流センター

建物名称候補：(例：北の防人大湊壺番館、センターハウス62、北の防人大湊交流館、北の防人大湊の館(やかた)、北の防人大湊館(かん))

➢ 活用方法

- ① 北の防人大湊(国指定重要文化財・石造建造物群・水源池公園・海上自衛隊見学等)の観光案内所 + 海軍系グッズ等おみやげ販売所とします。
- ② 観光交流情報を発信する。北の防人大湊に関する観光情報を提供します。
- ③ 北の防人大湊を憩いの空間へと誘う、アクセントを添える便益施設(軽食・喫茶機能の提供の場)
以上3機能を複合とする拠点施設を、水源池公園、北洋館や海上自衛隊施設、女子寮などの石造り士官宿舎などの点施設の中央箇所立地させ、各施設を面的活用へ促し回遊性を高めます。

- (イ) 外観について：学習センターと隣接するため、外観を隣接する学習センターと統一(赤レンガ・石造り・木造などの外観)し、景観づくりを図ります。
- (ウ) 内装について：観光集約機能を担う建物であるため、ユニバーサルデザインのもと歴史的な趣のあるレトロな雰囲気重視して整備を進めます。
- (エ) 外構について：学習センターとの連担性を重視し、各々の施設が見渡せるように、景観の創出を目指します。

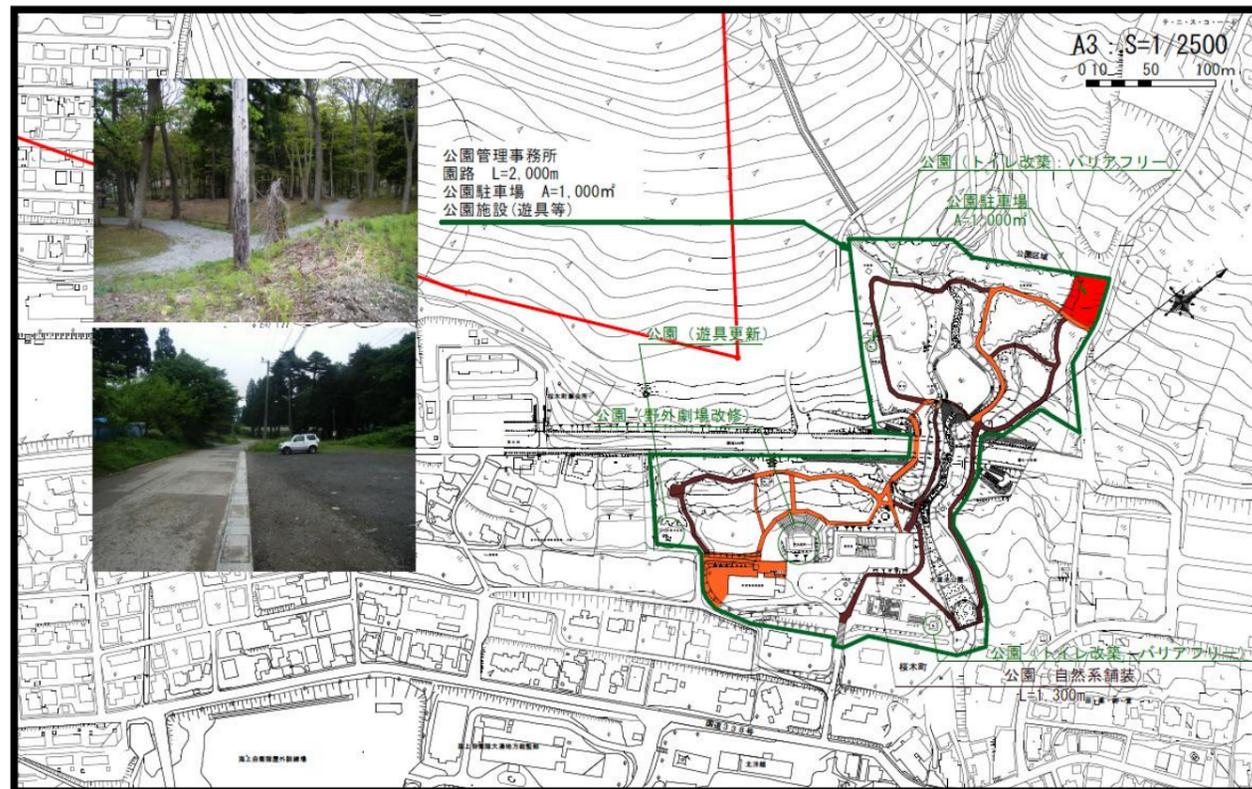


イメージ図は、石造の外観としているが、実施にあたっては、赤レンガ調、木造などになることもある。

北の防人大湊づくり構想書（素案）

公園

- 水源池公園の再生
 - 再生方法
 1. 高齢者、障がい者、市民、観光客、だれもが訪れたい環境創出の観点から、公園施設（駐車場、トイレ、野外劇場）のユニバーサルデザイン・コンセプト化を図ります。
 2. 公園内園路は、インターロッキングブロックやゴムチップ舗装等によるバリアフリー化およびウッドチップ系などの自然型舗装の箇所を地形的特性から効果的に配置し、案内サインによる誘導を図ります。
 3. 昆虫や草花など、子供たちが身近で自然観察ができ、自然環境を享受できる環境を創出します。
 4. 野外ステージのリノベーションに伴う、観客席、ステージへの屋根架けを検討します。
 5. 公園遊具は、複合型遊具やぶらんこ、そして、誰もが憩えるために、大人向けの健康遊具の配置も検討します。



ポケットパーク

- 北の防人大湊エントランスポケットパーク
 - 整備の方向性: 水源池公園と北洋館とを連絡するのが、現在階段のみなので、それを補うスロープの設置や、北の防人大湊を象徴するモニュメント(錨などの海上自衛隊装備の設置)や周辺案内板の設置等、小憩機能も兼ね備えたメインエントランスとした整備を図ります。
- 大湊基地展望台ポケットパーク
 - 整備の方向性: 観光案内所北側の高台の一角に、展望台を設置し、新たな眺望点とするポケットパークとして、市民・観光客に写真スポットを提供します。

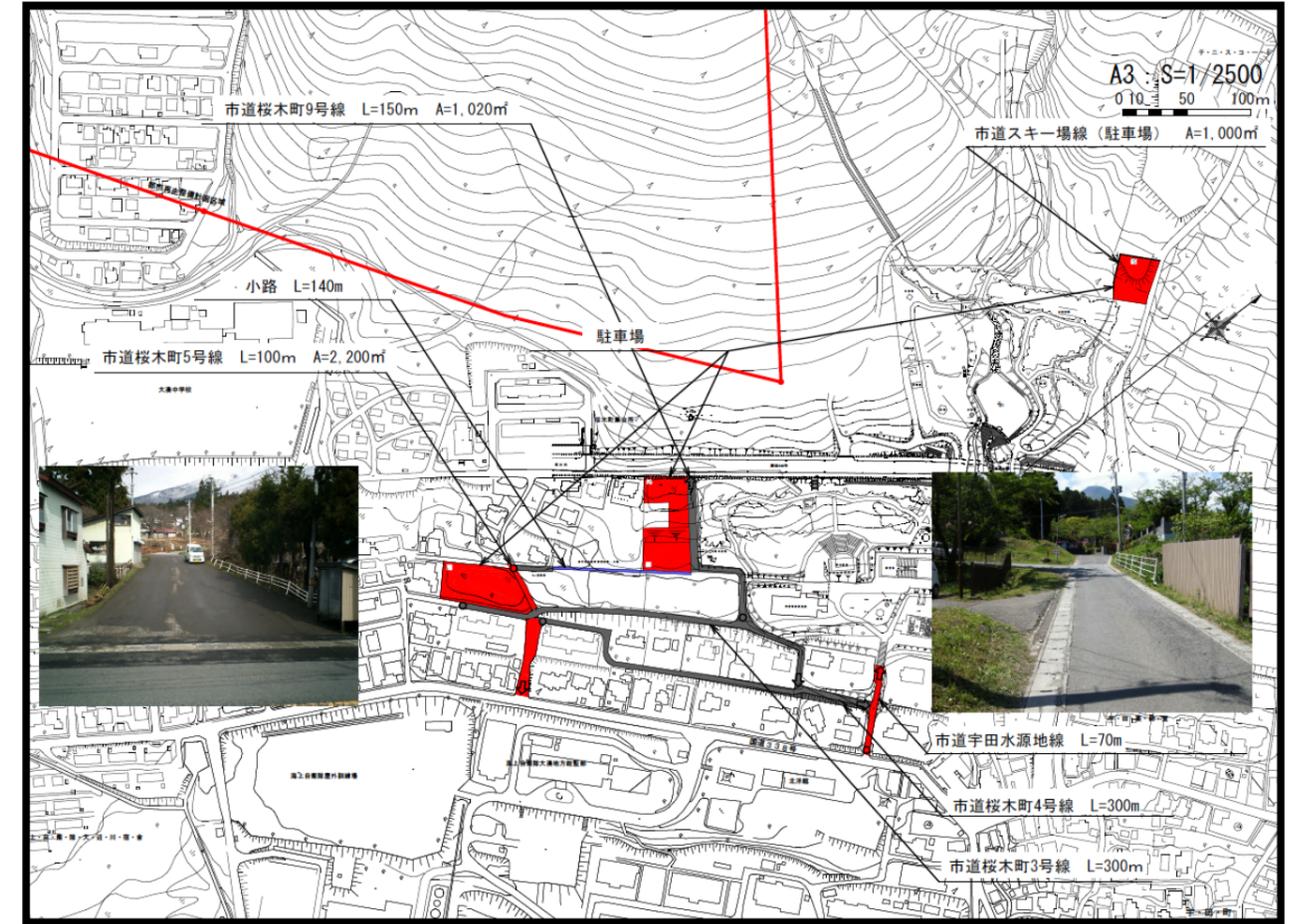


北の防人大湊づくり構想書（素案）

道路

- 周辺市道(宇田水源地線、桜木町 3 号線、桜木町 4 号線、桜木町 5 号線、桜木町 9 号線)を、舗装のデザイン化などを図り歩きたくなる環境を創出し、回遊性を高めます。また、北の防人大湊独自の名称とします。
 - 市道 宇田水源地線 整備延長L=70m
名称候補【水源池通り、北水通、GO to the park 通り】
 - ◇ 現道が、約 4m幅員です。水源池公園と北洋館を結ぶ重要な路線のため、歩道を設置します。また、国道 338 号線との接続箇所には、歩行者のための退避スペースを設け、回遊性を高めます。
 - 市道 桜木町 3 号線 整備延長L=300m
名称候補【ムチュリーStreet, 芦崎小道、】
 - ◇ 現道が、約 6m幅員です。現道のデザイン化を図りながら、回遊性を高めます。または、エントランスポケットパークのスロープ及び小路に回遊の役割を預け、3 号線の改良延長を縮小することも考えられます。
 - 市道 桜木町 4 号線 整備延長L=300m
名称候補【例:ムチュラン Street、歴史の小道、歴史の下道】
 - ◇ 現道が、約 4m幅員です。北洋館と石造り士官宿舎(旧大湊高校女子寮、市文化財収蔵庫)とを連絡する、重要路線ですので、道路拡幅(歩道設置または地区計画でのセットバックによる公開空地の確保)も検討しながら、回遊性を高めます。
 - 市道 桜木町 5 号線 整備延長L=100m
名称候補【例: 金剛水通り(こんごうすい)、釜臥通り、湧水通り(ゆうすい)、石造通り、歴史の道、Histreet】
 - ◇ 現道は、バスの停車帯が確保できるほどの、幅員が確保され、また、国道 338 号大湊バイパスに上る箇所は、約 4mの幅員となっています。遠足・観光バスなどの停車も考慮に入れ、また、収蔵庫北側に予定されている桜木町 5 号線駐車場への往来の安全確保のため、道路を拡幅します。
 - 市道 桜木町 9 号線 整備延長L=150m
名称候補【例: 北の防人大湊大通り、水源池本道、北のさきどおり、桜小路】
 - ◇ 現道は、市道桜木町 3 号線から、水源池公園に向かう約 30mの市道ですが、本事業において、新築の観光交流センターと学習センターの間を通り抜け、さらに、北側国道 338 号大湊バイパスへの連絡道路として、延長します。この道路の位置づけは、北の防人大湊での観光交流ゾーンを貫く道路ですので、速度を抑える工夫を備えた整備を検討します。
 - 市道 小路(こみち) 整備延長L=140m
名称候補【例: 桜小路、桜小道、】
 - ◇ 桜木町 5 号線駐車場、石造り士官宿舎(収蔵庫・旧大湊高校女子寮)などの生涯学習ゾーンと観光交流センターなどの観光ゾーンを楽しく回遊するための、むつ市初の自転車歩行者専用道路(市道認定:一部建築物の接道箇所もある)として配置し、歩きたくなる環境を創出します。

- 駐車場(道路付属物)
 - ◇ 市道 桜木町 5 号線駐車場 整備面積A=2,200 m²・・・収蔵庫北側・小路で観光交流センターとを結ぶ。
 - ◇ 市道 桜木町 9 号線駐車場 整備面積A=1,020 m²・・・観光交流センター北側・水源池公園西側・大湊基地展望ポケットパーク隣接
 - ◇ 市道 スキー場線駐車場 整備面積A=1,000 m²・・・国道 338 号大湊バイパスから市道スキー場線へと進入したバス・自家用車などの駐車場
 - ✓ 上記 3 駐車場は、道路区域と一体とした道路の付属施設となります。(安全かつ円滑な道路の交通の確保)
 - ✓ ほかにも水源池公園の駐車場もあります。整備面積A=1,000 m²・・・スキー場線駐車場南側



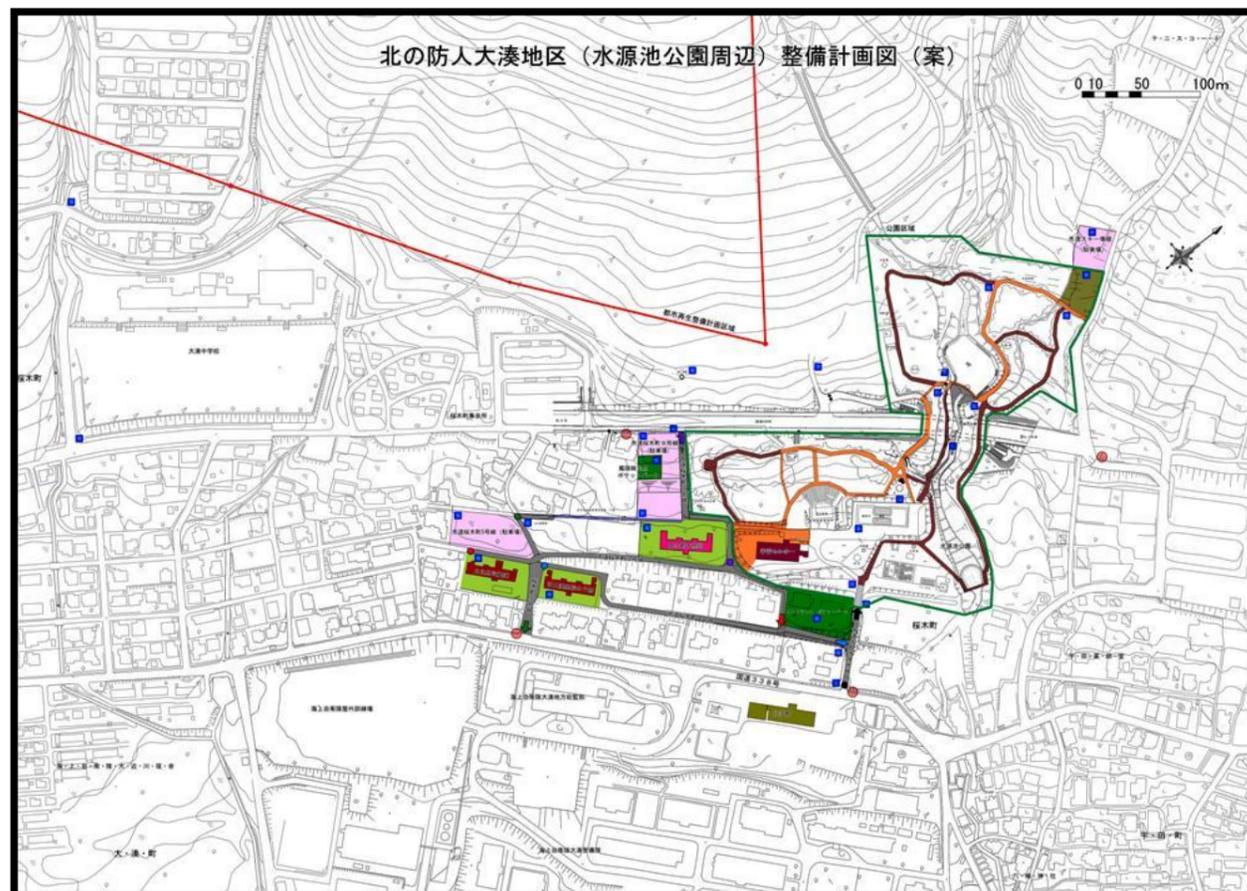
北の防人大湊づくり構想書（素案）

案内情報板など

- 案内サイン
 - 施設名および距離を表示することにより、市民・観光客の周遊時間の調整に役立てます。デザインは、公園内、水源池公園周辺ともに共通デザイン化を図りながら、北の防人大湊の一体感づくりに役立て、景観づくりにも役立てます。また、観光地北の防人大湊以外の場所（大湊駅周辺など）でも、サイン等の統一化を図り、さらに大湊のまちづくりを推進させます。
- 各施設案内版
 - 重厚感のある説明版を設置し、歴史を後世に伝えます。（デザインは各施設の雰囲気に合わせてもいいかと考えます。）
- 国道沿い観光案内標識
 - 車での来訪者へ、北の防人大湊へ近づき始めたことを知らせる共通デザインの案内標識を国道沿いに設置します。



案内看板設置候補地



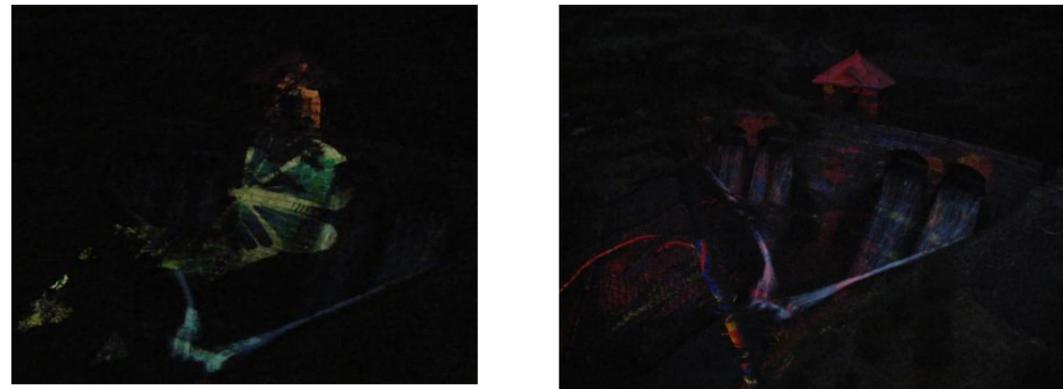
北の防人大湊づくり構想書（素案）

それぞれのまちづくりについて ～ 四季を感じる景観づくり ～

ライトアップで夜の景観づくり

- 建築物、国指定重要文化財、園路、道路、樹木などへの効果的なライトアップやイルミネーションなどの光の演出により、レトロでロマンチックな雰囲気を出し、夜の景観まちづくりを推進します。

- ① 平成 22 年度においては、沈澄池堰堤への投射実験及びデモンストレーションを実施しております。むつ市の夜景のイメージシンボルである「羽を広げたアゲハチョウ」、「デジタル掛け軸」などの光と沈澄池堰堤が織り成す演出は素晴らしいものでした。



沈澄池堰堤投射デモンストレーション

- ② 舞鶴の赤れんが、函館の金森倉庫のように建築物への照明演出やレトロな雰囲気漂う街灯の設置を行います。石造り建築物へ照明を向けることでより壁面の石を引き立たせます。



【参考資料:舞鶴観光ネット】赤れんが

<http://www.maizuru-kanko.net/pc/hp/red.htm>



函館市 金森赤レンガ倉庫

花とみどりに囲まれた景観づくり・まちづくり

- 現在の水源池公園も桜やつつじにより彩(いろどり)を感じることができる環境ですが、これをさらに、市民・観光客のコミュニケーションツールとして活用する市民の森として目指し、協働による植樹事業、維持管理を展開します。

① 桜

- ◇ その昔、一家に一本の桜が植えられ、そのことから桜木町という名が冠されるなどの歴史をもつ旧大湊水源地周辺でした。

そこで、自然学習体験センターをイベント起点としながら、その維持管理が難しいソメイヨシノなどの植樹について、苗木を市で手配し、それを市民が購入し、市民の手によって、水源池公園内や、国道沿いの桜トンネル化、都市再生整備計画の「北の防人大湊地区」内の公共用地や地区計画などで確保される公開空地などに植樹者の銘板が付された植樹を施し、まさしく、市民による、市民のための、市民の桜で、すばらしいまち大湊のまちづくりを推進しようとするものです。

② つつじ

- ◇ 現在、水源池公園には、時期がくると素敵に咲き乱れるつつじがあります。そこで、公園工事での植栽や市民協働植樹イベントなどにより、宇田川両岸につつじを配置し、河川景観を引き立たせるなど、つつじの咲き乱れる範囲の拡大、高密度化を目指し、新たな観光スポットの創出、咲いたつつじを活かしたイベント(つつじまつり)の開催を展開します。

③ バラ・ハーブ・ラベンダーなどの花

- ◇ 楽しめる花とみどりの空間を、市民協働事業で創出、維持管理を目指します。

④ 釜臥山スキー場 ゲレンデ

- ◇ 花を高密度に植樹することにより、自然豊かな大湊に彩を添えようとするもので、これを市民の手により直接、種子や苗の植樹活動を通して、継続した花景観づくり・まちづくりを推進しようとするものです。

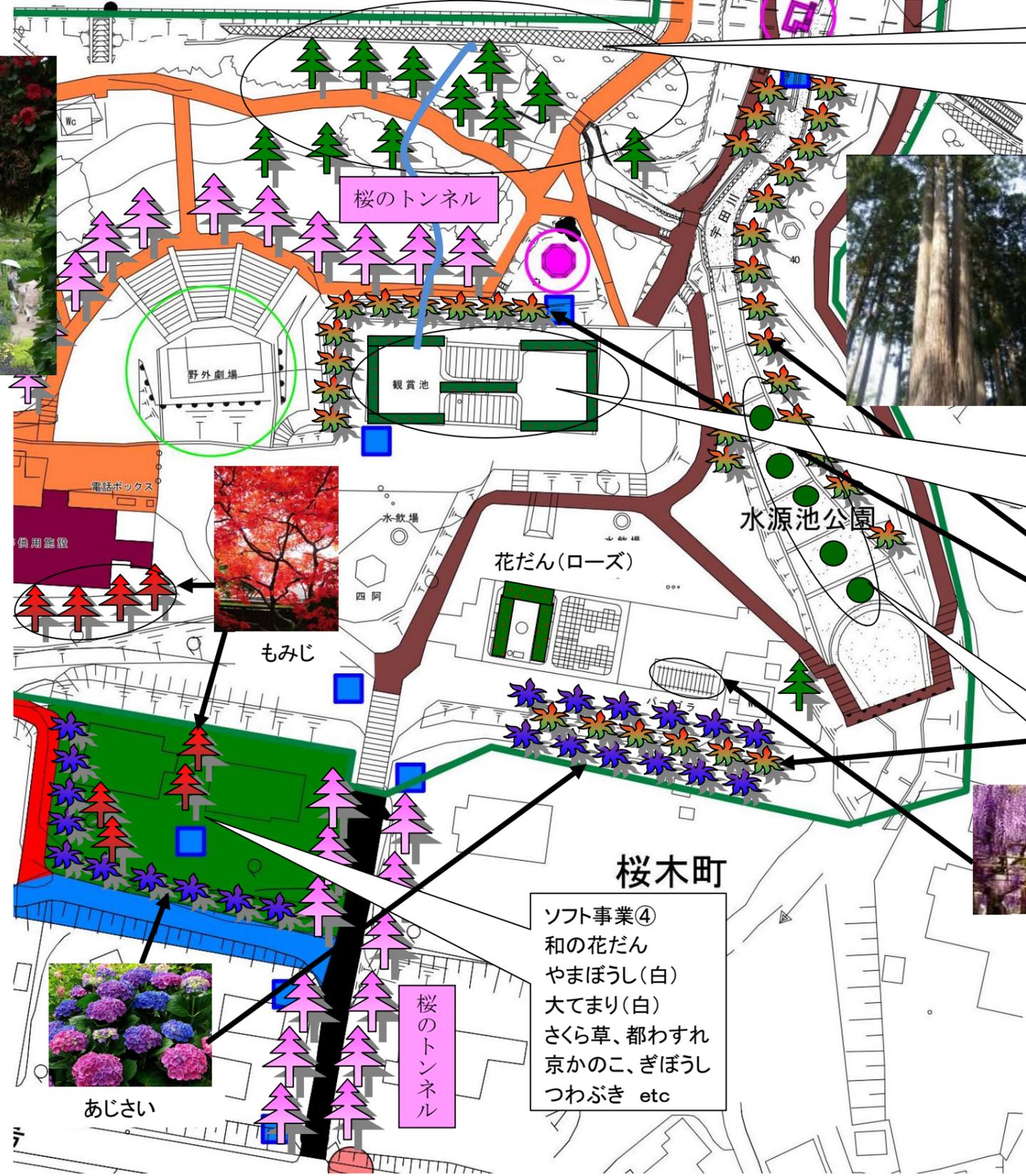


北の防人大湊づくり構想書（素案）



花とみどりのマップ

病気の桜を治療する



ソフト事業①
 パワースポット(自然系)ニ又杉・三又杉の利用
 幸せになれる ニ又杉→恋人の杉
 健康になれる 三又杉→家族の杉
 など、それらしく案内誘導の措置を検討する。
 湧水を宇田川に放流するだけでなく、公園内に
 趣のある水路づくりを考える。



ソフト事業②
 親子ふれあい花だん(池のまわりを区画)
 子どもの花育、感性・情緒の発達
 応募する・〇組 1年ごと更新
 秋にはコンテスト、商品を出す。
 蛍の幼虫のエサである「かわにな」が生息している
 ので、蛍の繁殖を検討する。
 (名称:ホタルの池)



つつじ



藤棚

ソフト事業④
 和の花だん
 やまぼうし(白)
 大てまり(白)
 さくら草、都わすれ
 京かのこ、ぎぼうし
 つわぶき etc

ソフト事業③
 ・川に浮島をつくる。そこに水性の植物
 花を植える。
 ・子どもたちが、水とたわむれることが
 できるよう整備する。
 ・岸辺に水性植物を植える。
 (例:ニッコウキスゲ、花しょうぶ)
 ・ほたるが育つようにする。



あじさい

桜のトンネル

北の防人大湊づくり構想書（素案）



花とみどりのマップ

北の防人大湊づくり構想書（素案）

ソフト事業⑩
 ☆コミュニティバスの運行
 ・ワンコイン（1区間）
 ・土・日・特定日限定
 ・運行コース
 田名部～下北駅～大湊駅
 ～水源池～桜木町

花と
みどりの
マップ

絶景ポイント
 （エメラルドグリーン
 の池に建物が写り、
 絶景）

ソフト事業⑩
 ※山野草ゾーン・すでにある山野草を増やす。
 （車葉草、○輪草、スマレ、エンレン草）
 ・群植させる。又、色を統一させグラデーションに！！（白・紫・黄・赤）
 ・みんなの林化（市民から提供してもらう）



一部に〈山野草〉

一部の〈山野草〉を活かした景観づくり

ソフト事業⑪
 ・池に名前をつける
 ・池の色がエメラルドグリーンなので、ここもパワースポットにする。

ソフト事業⑫
 秋には、どんぐり拾い「小鳥のおうち」を設置



北の防人大湊づくり構想書（素案）

それぞれのまちづくりについて ～ イベント編 ～

海上自衛隊施設見学ツアーの実施

- 観光交流センターと海上自衛隊の連携により、海上自衛隊施設の見学機会を増やします。



冬のイベントの実施

1. カマフセスノーフェス

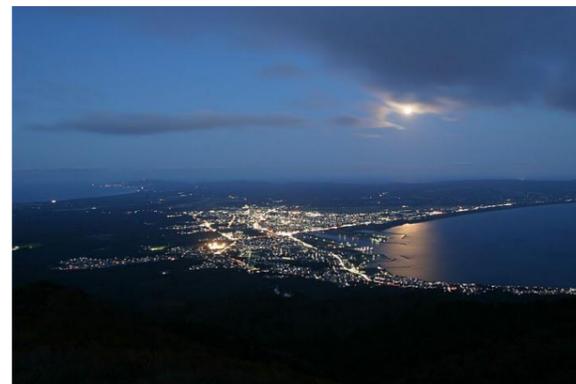
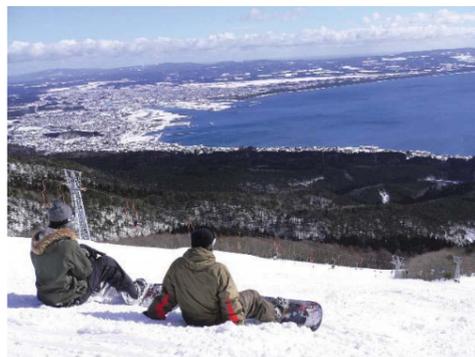
冬季における市民・観光客を巻き込んだイベントの開催が、むつ市における一つの課題です。そこで、釜臥山スキー場、海上自衛隊、観光交流センターを有する北の防人大湊を活かし、新たな冬のイベントを検討します。（例、スノースポーツ大会、雪像コンテスト、雪灯籠ライトアップ等）

2. 釜臥山スキー場でっぺん夜景ツアー

現在、釜臥山スキー場は、午後 4 時以降に頂上へは登ることができず、もっと夜景を一望できるポイントからの展望ができないため、夜景が一望できるツアーを企画する。

3. かんじきツアー・角巻・ほっかむりツアー

冬期期間中、水源池公園周辺のレトロな散策ルートを、かんじきを履き角巻やほっかむりをして歩き、タイムスリップツアーを企画し、散策後は冷えた体を北の防人大湊オリジナル鍋や関連商品で温める食べ歩きタイムスリップツアーを実施する。



四季による景観づくり

● 年間の景観づくり

①4月下旬～5月上旬

- ・桜
- ・ライトアップ（建造物、桜）
- ・艦船点灯装飾

②5月下旬～6月上旬

- ・つつじ
- ・ライトアップ（建造物、つつじ）
- ・艦船点灯装飾

③6月中旬～9月中旬

- ・バラとハーブとラベンダー
- ・ライトアップ（建造物）
- ・艦船点灯装飾

④10月下旬～11月末

- ・紅葉
- ・ライトアップ（建造物、紅葉）
- ・艦船点灯装飾

⑤12月初旬～12月下旬

- ・サンタランド
- ・建造物・樹木のイルミネーション（クリスマスバージョン）
- ・艦船点灯装飾

⑥1月下旬～2月末

- ・カマフセスノーフェス・雪景色
- ・建造物・樹木のイルミネーション
- ・艦船点灯装飾

● 年間の交流イベント

①春 4月～6月

- ・桜まつり
- ・つつじまつり
- ・海軍まつり・体験航海

②夏 7月～8月

- ・釜臥山清掃登山BBQ
- ・バラ・ハーブ・ラベンダーフェス

③秋 9月～11月

- ・紅葉まつり
- ・ワインまつり
- ・ちびっこクロスカントリー

④冬 12月～2月

- ・サンタランド
- ・カマフセスノーフェス
- ・雪景色まつり・かんじきスノーツアー

北の防人大湊づくり構想書（素案）

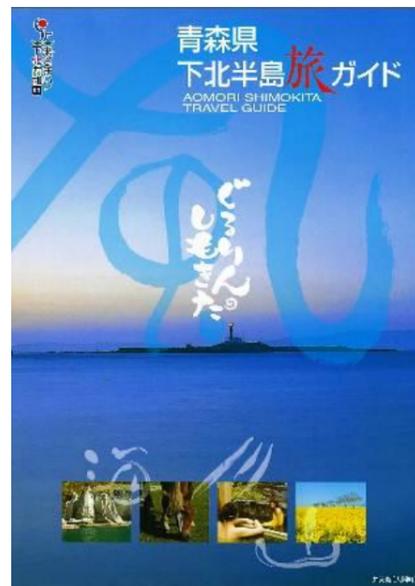
それぞれのまちづくりについて ～ ソフト事業編 ～

景観ルール策定

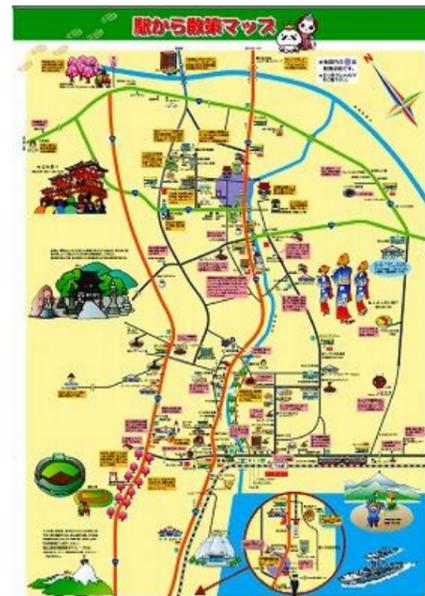
- 都市再生整備計画事業の「北の防人大湊地区」における、市民・企業・行政などによる今後の景観づくりのための、景観ルールを市民協働で策定します。
 - むつ市は現在、景観法による景観行政団体ではありませんが、今回、この景観ルールを策定することで、法的拘束力はありませんが、北の防人大湊での景観づくりを行うことにより、継続したまちづくりを展開し、すばらしいまち大湊への発展を目指します。また、むつ市が景観行政団体となる時の先導的役割を担います。

観光案内パンフレット作成

- 都市再生整備計画事業において、新観光地「北の防人大湊」への、来訪者を増やすための、案内パンフレットを整備完了年度時（H27 年度）に作成します。マップの内容やデザインについてもより多くの市民・専門家意見を募り北の防人大湊らしさを強調した案内パンフレットの作成を目指します。



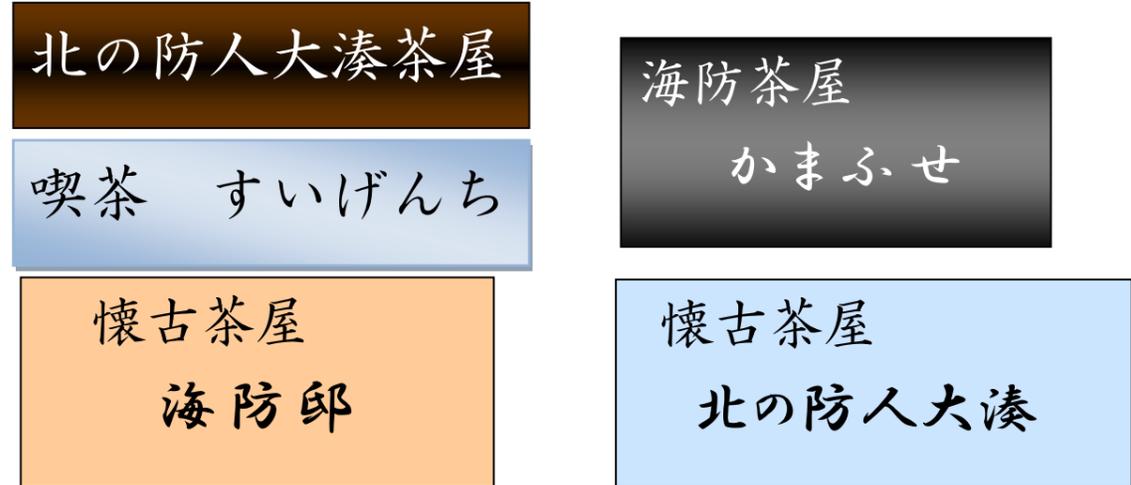
青森県下北半島旅ガイド



駅から散策ガイド

オープンカフェの社会実験

- 都市再生整備計画事業において、観光交流センターの完成後（予定H25 年度～）から、便益機能の軽食・喫茶機能運営のためのデータ収集を目的とする社会実験（仕入れ量の調整、人員配置）を行い、その後の効果的な運営を探ります。



軽食喫茶看板イメージ（案）



【参考資料：名古屋市HP 堀川オープンカフェ】
<http://www.city.nagoya.jp/ryokuseidoboku/page/0000017483.html>

【参考資料：広島市HP 京橋川オープンカフェ】
<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/00000000000000/1111583774214/index.html>



オープンカフェイメージ

北の防人大湊づくり構想書（素案）

それぞれのまちづくりについて ～ まちづくり担い手編 ～

持続可能なまちづくり

1. 都市再生整備計画事業終了後の、市民等、多様な主体によるまちづくり
 - 北の防人大湊も含めた、すばらしいまちをおみなとを育てていくには、市民等、多様な主体がまちづくりに参画することが、求められます。
そこで、以降の継続したまちづくりは、その後の担い手等の活躍に期待したいところです。
 - 観光交流センター、自然学習体験センターなどを、活動基地とする案内ボランティア、自然体験案内人など、さまざまな、まちづくりの担い手により、永遠につづくまちづくりを推進します。

それぞれのまちづくりについて ～ 文化財保存活用編 ～

国指定重要文化財の保存活用

1. 明治後期における石造河川構造物の技術水準の高さが学習できるまちづくり
 - 平成21年12月8日、大湊水源池公園内の沈澄池堰堤を含む、「旧大湊水源地水道施設」の一部が、東北地方で最初に建設された、近代水道施設史上でも価値が高いと評価され、国の重要文化財に指定されました。
そこで、これら水道施設の保存、公開など活用検討を図りながらまちづくりを推進するために、関係機関の指導のもと保存活用計画の策定を進めます。

それぞれのまちづくりについて ～ そのほか ～

重要文化財認識度調査アンケート

1. 調査内容について
このアンケート調査は北の防人大湊整備事業に伴う、現状での市民の重要文化財施設群に対する認識度、興味関心度の把握を趣旨としています。また、北の防人大湊づくりに対する意見、提案事項の記入欄を設けており、市民の整備に対する意見並びに提案等を、この構想書、都市再生整備計画に反映させています。またこのアンケートは平成 25、27 年度に行い、目標達成状況の確認に活用する予定です。

- (1)調査対象
北の防人大湊地区及びその周辺に住む住民を対象とし、地区内及び周辺の世帯主約 4,800 人を無作為抽出し、北の防人大湊地区および整備内容に関するアンケートを送付。
- (2)アンケート回収期限
平成 23 年 1 月 31 日～平成 23 年 2 月 14 日まで(14 日付けの消印までを有効とする)
- (3)アンケート回収数
1,043票回収 →全配布中(約4,800通)のうち約21.7%回収(小数点以下第2位を四捨五入)
- (4)アンケート様式
A3両面刷り 全16問(選択式:13問 自由記入式:3問)



都市再生整備計画【北の防人大湊地区】
～北の防人大湊づくりアンケート調査～

【事業内容】
平成 21 年 12 月 8 日に『旧大湊水源地水道施設』が、国の重要文化財並びに重要文化財*1 附(つけたり)として指定を受けました。これを受け、現在市ではこれらの貴重な文化財を有効活用するため、水源池公園周辺を含めた「北の防人大湊地区」を、市民並びに観光客が親しみ憩える観光ゾーンとして創出させるための整備構想を策定しています。
*1 附とは指定された文化財と一体となって、価値を形成する付属的なものです。

【記入方法】
このアンケートは世帯主の方へ送付しておりますが、回答する方はご家族のどなたでも構いません。アンケートは整備に対する市民の皆様のご意見を、伺いするためのものですのでお気軽にお答え下さい。
アンケートご記入後は、同封されている返信用封筒に入れて 2 月 14 日までにお近くの郵便ポストへ投函ください。切手は不要です。お間違えのないようお気を付け下さい。皆様にはお手数をお掛けしますが、ご協力よろしくお願いいたします。

事業の内容は、むつ市役所都市建設課前の掲示スペースや市のHPにも掲載しているよ。

アンケート調査についてのお問い合わせ
北の防人大湊づくりプロジェクトチーム
事務局 都市建設課 都市計画グループ
担当 山 道、風 澤
電話 0175-22-1111 (内線 2744)
Email mt-toohiken03@city.mutsu.lg.jp

問 10. 次の水源池公園周辺クイズにお答え下さい。《正解だと思うものを一つお選び下さい。》
Q1:「この中で国の重要文化財として指定を受けたものはどれでしょうか(附は除く)。」
※ 附とは指定された文化財と一体となって、価値を形成する付属的なものです。

1: 文化財収蔵庫 2: 大近川取水所 3: 第一入口 4: 北洋館

Q2:「この中で国の重要文化財(附)はどれでしょうか。」
1: 旧女子寮 2: 沈澄池堰堤 3: 甲水槽 4: 乙水槽

Q3:「どの分野の文化財として指定を受けたのでしょうか」
1)伝統的建造物群保存地区 2)民俗文化財 3)有形文化財 4)文化的景観 5)埋蔵文化財

Q4:「水源池公園周辺で国の重要文化財の指定を受けた箇所はいくつでしょうか。」※(附)も含みます。
1)2箇所 2)3箇所 3)4箇所 4)5箇所 5)5箇所以上

Q5:「沈澄池堰堤に使用されている石の種類はどれでしょうか。」
1)玄武岩 2)花崗岩 3)流紋岩 4)安山岩 5)わからない

Q6:「沈澄池堰堤の建設に携わった有名建築家は誰でしょうか。」
1)黒川 紀章 2)安藤 忠雄 3)椋井 小太郎 4)アントニ・ガウディ 5)わからない

Q7:「水源池公園内に植えられている桜の種類はソメイヨシノともう1種類はどれでしょうか。」
1)大山桜(オオヤマザクラ) 2)横貴紀(ヨウキキ) 3)八重桜(ヤエザクラ) 4)黄桜(キザクラ) 5)濃桜(ミナザクラ)

Q8:「大湊海上自衛隊地方総監部にある護衛艦などを整備する施設はどれでしょうか。」
1)YAMATO 2)1万トンドック 3)10万トンドック 4)ホワイトベース 5)自衛隊整備庫

Q9:「次の中で旧海軍時代に軍士官たちの社交場として建築された施設はどれでしょうか。」
1)旧女子寮 2)学習センター 3)総監部 4)文化財収蔵庫 5)北洋館

Q10:「海軍コロケのมาสコットキャラクターの名前はどれでしょうか。」
1)水兵コロロン 2)海軍コロ助 3)コロシェフ
4)海軍コロちゃん 5)水兵コロ助 6)水兵コロちゃん



北の防人大湊づくり構想書（素案）

施設の利活用の検討(案)

- 観光交流センター
 - ① オープンカフェ
 - ◇ 名物を、市民手作りハーブティー、ハーブケーキ、バラの紅茶、斗南ソフトクリームなど
 - ◇ そば、海軍カレー、軽食
 - ◇ 無料サービス茶も検討する。
 - ② おみやげ品
 - ◇ 海軍グッズ（4軍港）
 - ◇ 海上自衛隊グッズ
 - ◇ （水兵）ムチュラン、（ハイカラさん）マダム・ムチュリーグッズ
 - ◇ 地場おみやげ品
 - ③ 観光情報入手機能の創出
 - ④ Wi-Fiスポットの提供（公衆無線LAN）によるくつろぎ空間の創出
 - ⑤ ムチュラン・ムチュリー写真館
- 自然体験学習館（学習センター）
 - ① 水源池公園管理棟機能
 - ② 体験学習（花と木の植栽・手入れの仕方、ハーブの活用）
- 石造り官舎（旧大湊高校女子寮）
 - ① レセプション等迎賓館機能
 - ② 従来学習センターで行われていた社交ダンスの場
 - ③ セミナー活動
- 石造り官舎（市収蔵庫）
 - ① 遠足による利活用、イベントに合わせた展示活用

北の防人大湊づくり構想書（素案）平成23年7月

北の防人大湊づくりプロジェクトチーム

事務局 建設部都市建築課都市計画グループ